



後援会会報

Vol. 21

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



～21th 本気で遊ぼう!～

平成30年10月27日(土)・28日(日)に第21回翌檜祭(あすなろさい)を開催しました。「あすなろ」とは「檜のようにな長する木」であり、「未来に希望を持つて成長して欲しい」という意味が込められています。

今年の翌檜祭のテーマは「本気で遊ぼう」です。多忙な毎日や焦りなど自分を縛り付けているものを一度忘れて、大人は童心に戻り、小さな子は少し伸びをして「遊ぶ」ことで息を抜くことの大切さや重要さを確認するきっかけとなれるようなテーマにしました。

両日共に晴天に恵まれ、アカペラ部・ジャグリング部・ダンス部・軽音部などが普段の練習や活動の成果をメインステージ・ゲリラライブ・サブステージで披露し、翌檜祭を大学全体で盛り上げていきました。

地域の皆さんもたくさん来場してください、交流を深めることができました。多くの方々のご協力によつて大きな事故・事件もなく、無事に翌檜祭の幕を閉じることができました。

(記)自治会実行委員長

翌檜祭開催

大学の提供すべき知



社会にでて役立つ知は、大学の提供すべきものであることに言をまちません。ところでこの1、2年、将来の大学像にかんする文部科学省の講演では、今後20年経ったときまでに残る仕事、消える仕事について、まず語られます。英國の大学との共同研究で、先進国の中で、現在ある仕事が無くなる率は、日本がとくに高いことが指摘されています。約50パーセント近い仕事が、AI化などで置き換わるというのです。一方、産業界からの強い要望は、大学は即戦力となる学生を育成すべしということになります。しかし、すぐに使えるということが、長期的にみると不必要になってしまふのでは、大学教育は意味をもたない、ということになりかねません。前橋工科大学が提供すべき知とは何か、が問われていると認識しております。

2月は、例年のように、学部の卒業研究、博士前期課程の修士研究の

星 和彦

発表が続きました。すべてではありませんでしたが、修士研究の公聴会にはできるだけ参加しました。いくつもの研究で、現在を起点に将来の社会の変化を見据えた発表がありました。たとえ問題は小さくとも、自分で発見し、そして自分なりにそれを解く方法を組み立てる、工科大の各学科、各専攻の方向性です。単にいまに応える技術の修得だけではなく、この思考を身につければ、たとえ置かれる社会環境が変わっても、それに対応した考えを構築し、行動を取れると考えています。

人生100年時代ともいわれる現在、最も肝要なことは、考え方を自分の中にあるには、少し

時間を必要ですが、修士研究の発表を聞きながら、これに挑戦する意志と力の成長を感じた次第です。

ご父兄のみなさまにおかれまし

ても、この成長を見守っていただけ幸いです。

学生団体支援事業

大学では学生団体として活動を許可された31団体が学年・学科を問わず、仲間を作りキャンパスライフを楽しんでいます。より充実した活動を行えるよう、後援会では助成を行っています。

■大学が活動を許可した31団体(学生自治会含む)

【部】

- ・アカペラ部・えん・管弦楽部・軽音楽部・硬式テニス部・Comic Create Club・サッカー部・写真部・ジャグリング部・ストリートダンス部・バスケットボール部・バドミントン部・バレーボール部・フットサル部・放送部・毎週住宅をつくる会・ロボットテクノ部

【サークル】

- ・SSC(sports system club)・空手同好会・CLHCH・かるたサークル・剣道サークル・週末システムいろいろやろーゼZ・スノボーサークル・スポーツサークル・総合デザインサークル・都市デザイン研究会・バレーサークル・フットサルサークル・野球サークル



学科助成事業

後援会では学生生活充実のため、教育に係る経費として助成を行いました。

生命情報学科では、平成31年1月12日（土）「つくば学園都市の施設見学」に支援を行いました。



つくばガイドツアー



地質標本館



印旛医科器械歴史資料館

後援会からのおしぜりセー

〔新年度の予定〕
総会・講演会／10月19日（土）、保護者会／10月22日（日）

詳細についてはHP・案内状でご確認をお願いします。
みなさまのご来学をお待ちしております。

英語力支援事業

後援会では学生の語学力向上や専門分野の学習促進に繋げるための支援も行っています。

【TOEIC受験料支援】

学生1人につき1回2,000円、年間2回（合計4,000円）の受験料支援を行っています。

30年度の支援としまして、130名分の支援を行いました。（2/28日現在）

【後期ビギナー英会話教室の開催】

平成30年10月2日～12月

11日の毎週火曜日、前橋工科大学多目的ホールにおいて、「ビギナー英会話」を開催しました。

前期も担当された外国人講師グラハム氏をお迎えし、前半・後半の2部構成で開講。



外国人講師のグラハム氏



英会話の様子

文作品集」作成、「スポーツ大会」開催支援、「卒業研究論文集」作成などを行い、各学科にて活用されました。

参加学生から「分かりやす」「楽しい」「時間が経つのが早く感じた」との感想をいただきました。

留学支援事業

英語や専門分野に関する知識を海外で習得しようとする後援会会員の学生に、留学費用の一部を支援しています。

今年度は6名の学生が利用し留学しました。

【カルフォルニア州立大学ティビス校（アメリカ）】
〔期間〕8月9日からの月9日
システム生体工学科3年



カルフォルニア州会議事堂



大学にて

その他留学先…

☆EFシンガポール校(シンガポール) ☆Access Language Cente(オーストラリア) ☆ECオックスフォード(イギリス) ☆EC Vancouver(カナダ)

キャリアセンターからのお知らせ

昨年、経団連会長の発言により、流動化しかけた就活日程ですが、結果として、2021年3月卒業生（現2年生）までは、現行と同じ日程（広報解禁3月1日、採用活動解禁6月1日）となりました。
※2022年3月卒業生（現1年生）以降は、別途検討予定。

★インターンシップ

3年生段階での活動にインターンシップがあります。今年度の特徴として夏のインターンシップが活発に行なわれることが挙げられます。

インターンシップについては、経団連が日数を撤廃したことにより、数年前から1day, 2dayといった短期の会社説明会に近い形式の開催が増えています。

昨年度では、秋冬に開催されるインターンシップがメインでしたが、今年度は、夏季開催にシフトしました。人気企業においては、インターンシップに参加するための選考が採用試験と同様に行なわれるようになりました。最近は、インターンシップへの参加から採用活動が始まっているといえる状況です。

ご家庭でも、お子様の進路について早い時期からじっくり話し合ってみてください。

★セミナー等

キャリアセンターでは個別相談のほかに、主に3年生を対象に、就職に向けたセミナーを開催しております。就職活動に必要な自己分析やエントリーシートの書き方・業界・業種研究、模擬面接など年間プログラムを組んで実施しています。

売り手市場感もあって、安心しているかもしれませんのが、就職活動には必要な知識や技術もありますので、積極的に参加するように促してください。

★就活手帳

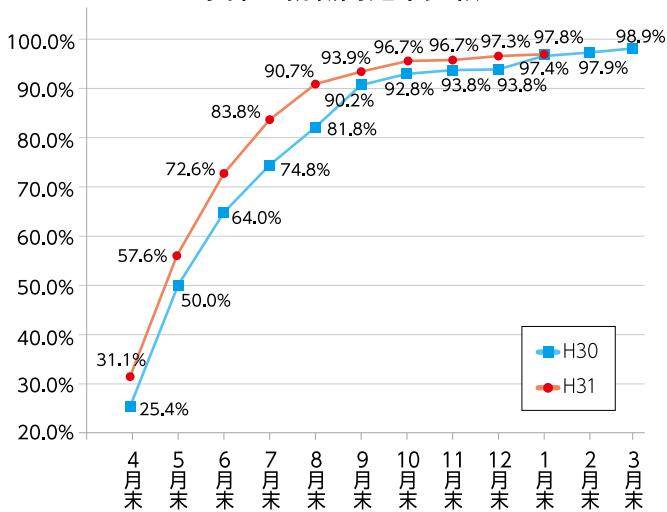
後援会が支援し作成した就活手帳を3年生に配布しています。2年間のカレンダーのほか、就職活動に必要な知識等を網羅した支援ブックになっています。



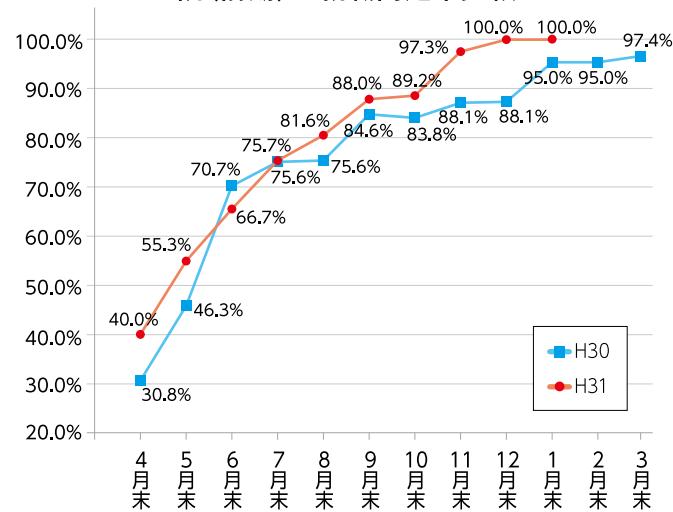
平成30年度卒業予定者の就職速報

本学の3月卒業予定者の就職内定のグラフです。学部生と院生（前期）別に掲載いたしました。平成31年1月末現在の数値ですので、次号にて詳細をおしらせいたします。

学部生就職内定率比較



院(前期)生就職内定率比較



前橋工科大学後援会事務局（前橋工科大学学務課学生係内）

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1
TEL : 027-265-7361 FAX : 027-265-3837

E-mail : kouenkai@maebashi-it.ac.jp
ホームページ : http://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/

